

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 836

事業名	財団法人南あわじ産業振興協会補助金 (一般会計)		予算 科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	商工振興費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	南あわじブランドの確立【商工業】			
	施策目標	異業種の連携により、地場産業の企業経営を革新し、高収益化と雇用の拡大をめざす			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 財団法人南あわじ産業振興協会(市及び西淡小売商業協同組合)				構成人数(人) 3
	活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 南あわじ市の小売商業等産業の振興及び地域の活性化を図るため、小売商業及び地場産業の振興並びに産業振興施設の施設運営等を行い、もって賑わいのある街づくりに寄与する。					
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 1.南あわじ市の小売店商業及び瓦産業等地場産業の振興 2.南あわじ市の産業振興のための調査研究及び産業功労者の表彰 3.商業活性化施設の建設及び管理運営、南あわじ市の公の施設の管理運営受託				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 西淡健康増進センター - 建設を契機として、旧西淡町の小売商業等産業の振興及び地域の活性化を図るため、小売商業及び地場産業の振興並びに産業振興施設の管理運営等を行い賑わいのあるまちづくりに寄与することを目的として設立する。				
	補助金算出根拠	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input type="checkbox"/> 設定なし			
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	10,960	10,960	9,735	9,239
	(財)南あわじ振興協会補助金(一般会計)	10,960	10,960	9,735	9,239
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	10,960	10,960	9,735	9,239
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	10,960	10,960	9,735	9,239
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	3,653.3	3,653.3	3,245.0	3,079.7
受益者人数(53,374)1人当り経費(千円)	0.2	0.2	0.2	0.2	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 低迷を続けている市の基幹産業である瓦業界の振興及び発展を図るため、淡路瓦の耐寒性、耐久性の研究、販路拡大のため宣伝、広報に努めている。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地場産業の育成及び振興、発展を図ることは地域の活性化につながるため、これからも助成が必要である。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 地場産業の振興、発展をはかるには必要な事業であるが、不況から脱却できていない。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>地場産業の振興、発展をはかるには、官民一体となって取り組むことが必要であるため、これからも適正な執行のもと助成していきたい。</p>	<p>同左</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>産業振興のためにも必要であり、廃止すればより不況から脱却できない。</p>	